

■南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略[平成28年度 施策評価シート]に関する質問等の回答

シート 頁	質問	回答	担当課
1	①の待機児童関係事業について、施設の整備をする一方で、保育士のなり手がいないという話も聞くが、現状はどうか？	平成29年度に開設した、くわの実保育園・やまがわ保育園・たいようのおか保育園については保育士不足はありません。 既存認可園については、平成29年度当初は、7名の保育士不足で定員に対して28名分の受入が出来ませんでした。	こども課
1	①の待機児童関係事業について、八重瀬町は2016年に待機児童ゼロになっている。翌年は多少増えてはいるが、要因は保育園の数が増えたことだと思う。そのような取組を調べてみてはどうか。	本町も待機児童の解消(平成32年度までに)に向けて、平成29年度に子ども・子育て支援計画の中間見直しを行い、保育が必要な量の見込(需要)を算出し、追加の施設整備を行う、変更計画(改訂版)を策定しました。	こども課
1	②「特別教育支援委員については当初からの配置ができていない」とあるが当初の配置計画はどの位で、何故配置できなかったか？	配置計画は、幼稚園9人、小学校35人、中学校5人の合計49人でしたが、当初は45人の配置となっています。町広報やホームページ等を通じて募集を行いましたが、応募者がなく、配置できませんでした。	学校教育課
1	④のこどもの貧困、社会的孤立の防止に向けた支援体制の構築事業について、元気ROOMで支援を受ける以外の子どもたちは見守りでの対応になっているが、何故見守ることしかできないのか、その要因は。	こども課に寄せられてくる気になる子の情報について、元気ROOMで支援が必要な子以外は、学校の先生、民生委員、児童館の厚生員など、関係機関において、見守りという方法で注意を払っているということでご理解をお願いします。	こども課
2	④キャリア講話についての情宣や生徒からの意見等を広報誌等に記載されて住民等共有ができているのか？	広報はえばる平成29年1月号・2月号・3月号に掲載され、住民等との共有を図っています。	学校教育課
3	①の南風原町観光振興推進事業について、宿泊施設などでの保安基準が全国的に問題になっているが、南風原町の民泊施設は大丈夫なのか？	本町での民泊は教育旅行民泊で保安基準が問題になっている一般の民泊はありません。教育旅行民泊の民泊受入家庭に対しアレルギー対策料理実習や安全対策学習会を行い安全な受入体制づくりを推進しています。しかし民泊新法施行後(H30.6)受入家庭は県への届け出、営業許可を取る必要があることから減少につながると予想されます。	産業振興課
3	①の南風原町観光振興推進事業について、南風原文化センター内に観光案内所があるが、場所の認知度が低いような気がする。年間もしくは月間の来客数は？	観光案内所を設置して3年を経過しますが、当初2年くらいの間は立地が県道の上にあるため分かりづらく、認知度も低く商品の動きも悪い状態であったが、まち歩きの出発点やイベントを重ねるうちに、少しずつ認知をされるようになった。 H28来客数：県内4,575、県外350、外国35、計4,960 H29来客数：県内4,805、県外417、外国37、計5,573	産業振興課

3	④の「はえばる美瓜レシピコンテスト」の実施の中でヘチマ料理やスターフルーツの収穫体験とあるがそれ以外の特産物の紹介やイベント等は考えているのか？	くがに市場等販売店やJAとタイアップした実施方法について検討しています。	産業振興課
3	・新規就農者数について、延べ2人となっているが給付金を受けている人に限っているのか？脱サラして新規就農した人は含めていないのか？	脱サラ等をして専業として新規就農した者のうち、新たに給付を受ける者が2人となっています。 ※平成28年度において、給付を受けている就農者は5人となっています。	産業政策課
3	・後継者育成事業において、「デザイン・くくり」でニーズに合わせたデザイン開発や商品価値の向上のために、継続した技術者育成が必要とありますが、若い人達を含めた地域住民や県内外の方々がどの様なものが欲しいか？把握し分析できるチーム(機関等)は存在しているのか？	組合に訪れる問屋やデパート等の小売の方々からの注文や要望等を聞くことで、市場のニーズの把握に努めています。今後は平成29年度に組合が実施している販路開拓事業のマーケティング調査に基づきながら、ニーズ等の把握に努めていきたいと考えています。	産業振興課
3	・かすり会館来館関係事業について、来館者数だけがかすりの評価ではないので、H29年1月に花織が国から伝統的文化財として認められたことなども評価してはどうか。また、ふるさと博覧会での「かすりのファッションショー」や物産展での発表もあるので、そのような来場者数も数えるなどしないと、かすり会館の来館者数だけで評価して「停滞」となると語弊があるのではないか。	伝統工芸振興につきましては、かすり会館の来館者数だけでなく、南風原花織が経済産業省の伝統的工芸品に指定されたことやかすりのファッションショー等を事業の実績・取組状況に追記したいと思います。 総合戦略の具体的な施策「2-(1)地域産業の振興」の達成度を図るために「かすり会館来館者数」を指標として設定していますが、かすり会館の見学等を目的に訪れた「来館団体数」を指標に追加し、あわせて評価できるようにしたいと考えています。 平成28年度 来館者人数10,118名 平成26年度:32団体 平成27年度:21団体 平成28年度:42団体 目標値(平成31年度):50団体	産業政策課 企画財政課
5	①の雇用・就労支援事業について、南風原町のホームページの雇用サポートセンターの情報量が少ない。最近ではインターネット上で求人情報が溢れている。商工班全体での事業推進も良いが、外部委託はできないのか？	雇用・就労支援事業につきましては、H27年度に沖縄振興特別推進交付金を活用して、事業に必要なシステムを整備していることから、継続して町で取り組んでいきたいと考えております。 雇用サポートセンターには2月末現在、求人数93社、求職数47人となっています。今後は商工会等と密に連携を取りながら、情報発信に努めていきます。	産業政策課
5	①で職員の途中退職とあるがそもそもどのような構成で行っていたのか？職員1人で行っていたのか？	担当職員1名、嘱託職員1名の体制で行っていました。	産業振興課